

# 受講生満足度調査(2020年度後期)の集計結果について

調査活動WG長 青木 宏光

## <はじめに>

2020年度後期も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、2020年末から2021年始に掛けて大学の行動指針が引き上げられるなど、多くの制約がある中で授業を行わなければならなくなりました。ただ、急遽対応しなくてはならなかった前期の遠隔授業とは異なり、後期では多少の準備期間もあったことから、前期での経験を生かして、修正・改善できた授業もあったのではないかと考えております。2020年9月に実施した後期科目の授業形態に関するアンケートでは、対面のみ、遠隔のみ、対面と遠隔の併用はいずれも3分の1程度になっており、事前に遠隔授業の準備を進められていたことが窺えます。

Newsletter 18(2)でも触れましたが、オンデマンド型の授業動画配信には学生の学修意欲の低下といった問題点があるものの、繰り返し動画を視聴できるため意欲のある学生にとっては理解が深まるといった利点があります。また、教室内で「何か質問はありますか?」と問いかけても、学生の反応はほとんどないのですが、TeamsやZoomのチャット機能を使えば、学生が質問しやすくなる、といったことも利点として上げられるでしょう。遠隔授業はコロナ終息後も残っていくものと思われるので、これらの利点を生かしつつ、学生の理解を深めるための最適解を各科目で探って頂ければと考えております。

2020年度前期はコロナ対応のために急遽、Course Powerのアンケート機能を利用することと致しました。実際にCourse Powerでアンケートを実施してみると様々な問題点があることが分かりましたが、その結果が出る前に後期の準備を始めなければならなかった都合上、2020年度後期も前期と同じCourse Powerを用いた「受講生満足度調査アンケート」を実施させて頂くことと致しました。ご不満に感じられた先生方もいらっしゃると思いますが、この辺りの事情をご賢察頂ければ幸いです。

## <回答数および回答分布>

2020年度前期と同様に、受講生満足度調査を実施した科目数、履修者数、回答数、履修者数に対するアンケートの回収率を、共通教育科目、専門科目、授業区分毎に表1にお示しします。2020年度前期の回収率は69.6%でしたので、若干低下しております。回収率を上げるためには、学生への適切な指示が必要だと思われる。

表1 アンケート実施科目数、回答数と回収率

授業区分	共通教育科目				専門科目				計			
	科目数	履修者数	回答数	回収率	科目数	履修者数	回答数	回収率	科目数	履修者数	回答数	回収率
講義	23	1,383	819	59.2%	110	6,474	4,154	64.2%	133	7,857	4,973	63.3%
演習	7	256	181	70.7%	21	1,090	731	67.1%	28	1,346	912	67.8%
実験	-	-	-	-	10	424	261	61.6%	10	424	261	61.6%
計	30	1,639	1,000	61.0%	141	7,988	5,146	64.4%	171	9,627	6,146	63.8%

紙媒体でアンケートを実施する際には、アンケート用紙を配付する都合上、どの科目でアンケートを実施するのか、用紙が何枚必要なのかといったことをFD委員会にご報告頂いております。Course Powerで行う場合、アンケート用紙を用意する必要は無くなったのですが、どの科目でアンケートが行われるのかをFD委員会が把握するため、事前にご報告頂く形を踏襲しました。事前報告の段階では約200科目でアンケートが実施されることになっておりましたが、実際には表1にありますように171科目でアンケートが実施されました。すなわち、約30科目はアンケートを行う予定である、と事前に報告があったものの、行われなかったことを示しています。紙媒体であれば、時期が近づくとも用紙が各教員のメールボックスに配付されるため、教員もアンケートを実施しなければ、という心の準備が出来ます。しかしながら、Course Powerの場合、教員自らがPC上でアンケートの設定をしなければなりません。そのため、アンケートの実施自体を失念してしまったということが多発したと思われる。

細かく見ていくと、2019年度後期の実験・実習科目のアンケート実施数が16科目だったのに対し、2020年度後期の実験・実習科目のアンケート実施数は10科目のみと大きく減っております。緊急避難的に遠隔で行わなければならない、アンケートを採っても改善に役立つ有用なデータが得られないと判断されたためかもしれません。

次に、表2~4に授業区分毎の設問内容とそれに対する回答数をお示しします。

表2 講義科目の設問と回答数

<共通・専門 (n=4973)>

設問	回答数						平均
	6	5	4	3	2	1	
1. 学生の自己評価	大変そう思う						4.62
	まったくそう思わない						
Q1. あなたは、この授業の学修を1週間で平均どの程度しましたか?ただし、学修時間には配信された動画などを視聴している時間も含まれます。	>5h	4-5h	3-4h	2-3h	1-2h	<1h	
	848	2,104	1,516	322	136	47	
	14.5%	35.9%	25.8%	5.5%	2.3%	0.8%	
Q2. あなたは、この授業の到達目標を意識し、目標達成に向けて意欲的に取り組んだと思えますか?	155	173	548	1,410	2,076	611	2.61
	2.6%	2.9%	9.3%	24.0%	35.4%	10.4%	
2. 授業内容と教員の評価	750						4.50
	2,015						
Q3. 遠隔授業(動画配信、あるいはWEBを介した対話型授業)における教員の話し方や用意された資料は、理解しやすかったですか?	750	2,015	1,481	495	186	46	4.50
	12.8%	34.3%	25.2%	8.4%	3.2%	0.8%	
3. 総合評価	977						4.72
	2,204						
Q4. この授業を通して、新しい知識や技能、態度が身に付いたと感じますか?	977	2,204	1,439	182	137	34	4.72
	16.7%	37.6%	24.5%	3.1%	2.3%	0.6%	
Q5. 総合的に考えて、この授業を受講して良かったと思えますか?	1,207	2,214	1,249	157	113	33	4.83
	20.6%	37.7%	21.3%	2.7%	1.9%	0.6%	

表3 演習科目の設問と回答数

<共通・専門 (n=915)>

設問	回答数						平均
	6	5	4	3	2	1	
1. 学生の自己評価	大変そう思う						4.92
	まったくそう思わない						
Q1. あなたは、この授業の学修を1週間で平均どの程度しましたか?ただし、学修時間には配信された動画などを視聴している時間も含まれます。	>5h	4-5h	3-4h	2-3h	1-2h	<1h	
	241	422	210	26	11	5	
	28.4%	49.7%	24.7%	3.1%	1.3%	0.6%	
Q2. あなたは、この授業の到達目標を意識し、目標達成に向けて意欲的に取り組んだと思えますか?	68	72	143	255	293	84	3.03
	8.0%	8.5%	16.8%	30.0%	34.5%	9.9%	
2. 授業内容と教員の評価	237						4.90
	417						
Q3. 遠隔授業(動画配信、あるいはWEBを介した対話型授業)における教員の話し方や用意された資料は、理解しやすかったですか?	237	417	206	39	15	1	4.90
	27.9%	49.1%	24.3%	4.6%	1.8%	0.1%	
3. 総合評価	280						5.00
	410						
Q4. この授業を通して、新しい知識や技能、態度が身に付いたと感じますか?	280	410	184	27	12	2	5.00
	33.0%	48.3%	21.7%	3.2%	1.4%	0.2%	
Q5. 総合的に考えて、この授業を受講して良かったと思えますか?	367	389	139	11	7	2	5.19
	43.2%	45.8%	16.4%	1.3%	0.8%	0.2%	

表4 実験・実習科目の設問と回答数

&lt;共通・専門 (n=261)&gt;

設問	6 5 4 3 2 1						平均	
	大変そう思う			まったくそう思わない				
1. 学生の自己評価	Q 1. あなたは、この授業の学修を1週間で平均どの程度しましたか？ただし、学修時には配信された動画などを視聴している時間も含まれます。	>5h 82 34.2%	4-5h 129 53.8%	3-4h 40 16.7%	2-3h 6 2.5%	1-2h 2 0.8%	<1h 2 0.8%	5.06
	Q 2. あなたは、この授業の到達目標を意識し、目標達成に向けて意欲的に取り組んだと思えますか？	24 10.0%	19 7.9%	41 17.1%	58 24.2%	88 36.7%	31 12.9%	3.00
2. 授業内容と教員の評価	Q 3. 遠隔授業（動画配信、あるいはWEBを介した対話型授業）における教員の話し方や用意された資料は、理解しやすかったですか？	61 25.4%	129 53.8%	53 22.1%	11 4.6%	7 2.9%	0 0.0%	4.87
	Q 4. この授業を通して、新しい知識や技能、態度が身に付いたと感じますか？	96 40.0%	125 52.1%	35 14.6%	3 1.3%	2 0.8%	0 0.0%	5.19
3. 総合評価	Q 5. 総合的に考えて、この授業を受講して良かったと思えますか？	114 47.5%	118 49.2%	25 10.4%	4 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	5.31

年末から年始にかけて行動指針が引き上げられましたので、最終的に個々の授業がどのような形態（対面・遠隔）で実施されたのかまでは把握できておりませんが、講義科目に比べて演習科目や実験・実習科目の点数が比較的高い、という従来と同じ傾向が見られました。

#### <アンケート結果の経年変化>

次に過去4年間のアンケート結果の経時変化を、授業区分毎に表5~7でお示しします。2019年度のアンケートを基準とし、「旧」の欄は2018年度まで用いていたアンケートでの質問内容に該当するものを対応させております。2020年度はQ3とQ4をまとめてQ3として、Q5とQ6が無くなりましたので、それとともなう、Q7、Q8の番号がずれて、それぞれQ4、Q5となっております。

表5 講義科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設問概要	旧	2017前期 (n=8330)	2017後期 (n=6926)	2018前期 (n=8667)	2018後期 (n=8325)	2019前期 (n=8715)	2019後期 (n=7063)	2020	2020前期 (n=5867)	2020後期 (n=4973)
Q 1. 学生の授業外学修（予習・復習等）の時間	Q3	2.90	2.81	2.92	2.91	2.75	2.71	Q1	4.35	4.62
Q 2. 学生の目標到達への取り組み	Q2	5.19	5.18	5.21	5.19	4.43	4.36	Q2	2.74	2.61
Q 3. 音声情報	Q8	5.12	5.16	5.15	5.16	4.86	4.77	Q3	4.39	4.50
Q 4. 視覚情報	Q11	5.13	5.17	5.14	5.19	4.91	4.82			
Q 5. 理解度の把握とそれに即した授業内容	Q13	5.11	5.17	5.14	5.19	4.79	4.76	-	-	-
Q 6. 授業への参加	Q12	4.84	4.88	4.82	4.88	4.26	4.17	-	-	-
Q 7. 行動の変化	-	-	-	-	-	4.97	4.91	Q4	4.69	4.72
Q 8. 授業の感想	Q16	5.31	5.33	5.34	5.33	5.06	4.98	Q5	4.86	4.83

表6 演習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設問概要	旧	2017前期 (n=1559)	2017後期 (n=669)	2018前期 (n=888)	2018後期 (n=1032)	2019前期 (n=1307)	2019後期 (n=1056)	2020	2020前期 (n=849)	2020後期 (n=912)
Q 1. 学生の授業外学修（予習・復習等）の時間	Q5	3.32	2.91	3.34	3.16	3.70	3.14	Q1	4.26	4.92
Q 2. 学生の目標到達への取り組み	Q4	5.38	5.29	5.33	5.35	4.88	4.66	Q2	3.69	3.03
Q 3. 音声情報	Q8	5.22	5.20	5.18	5.20	5.17	4.94	Q3	4.60	4.90
Q 4. 視覚情報	Q11	5.22	5.13	5.26	5.20	5.20	4.94			
Q 5. 理解度の把握とそれに即した授業内容	Q9	5.20	5.23	5.20	5.22	5.10	4.94	-	-	-
Q 6. 授業への参加	-	-	-	-	-	4.85	4.92	-	-	-
Q 7. 行動の変化	-	-	-	-	-	5.30	5.16	Q4	4.84	5.00
Q 8. 授業の感想	Q15	5.36	5.33	5.31	5.27	5.36	5.21	Q5	5.04	5.19

表7 実験・実習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設問概要	旧	2017前期 (n=375)	2017後期 (n=979)	2018前期 (n=346)	2018後期 (n=1088)	2019前期 (n=333)	2019後期 (n=730)	2020	2020前期 (n=240)	2020後期 (n=261)
Q 1. 学生の授業外学修（予習・復習等）の時間	Q5	3.59	3.47	3.68	3.58	3.40	3.65	Q1	5.30	5.06
Q 2. 学生の目標到達への取り組み	Q4	5.53	5.51	5.52	5.53	4.76	5.02	Q2	3.61	3.00
Q 3. 音声情報	Q8	5.37	5.33	5.30	5.49	4.96	5.27	Q3	4.71	4.87
Q 4. 視覚情報	Q11	5.28	5.28	5.25	5.41	4.87	5.18			
Q 5. 理解度の把握とそれに即した授業内容	Q9	5.36	5.34	5.36	5.48	4.96	5.25	-	-	-
Q 6. 授業への参加	-	-	-	-	-	5.23	5.35	-	-	-
Q 7. 行動の変化	-	-	-	-	-	5.24	5.36	Q4	5.40	5.19
Q 8. 授業の感想	Q15	5.61	5.53	5.47	5.60	5.20	5.41	Q5	5.50	5.31

2020年度後期もほとんどの授業が遠隔で行われたため、学修意欲（Q2）は低いままです。コロナ疲れなのか、前期に比べてもさらに低下しております。遠隔授業ではなかなか難しいのですが、意欲を引き出すためには、適切なフィードバックを掛けることが重要と考えております。教員が常に見てくれている、正當に評価してくれていることを学生が知れば、学生はその教員のことを信頼し、学修に取り組んでくれるようになるのではないのでしょうか。

一方、学修時間（Q1）は授業動画などを視聴している時間も含める質問内容で、各選択肢は以前のものに比べて1時間延長しているにも関わらず、数値が大きくなっております。後でも触れますが、いずれの授業区分でも4時間以上の学修時間と推定されます。やる気が低下している状態ですので、ひょっとしたらダラダラとやっている時間だけが延びているのかもしれない。

教員が用意した資料の分かりやすさ（Q3）は若干改善傾向が見られます。後期では準備期間が少しとれたこと、また、前期の反省を踏まえて、より分かりやすい遠隔授業を心がけたためではないかと推察しております。

総合的な評価（Q4：行動の変化、Q5：満足度）は、2019年度以前に比べて少し低く、遠隔授業の影響と考えられます。TeamsやZoomを用いた双方向型同時授業であれば、対面の方が教室という場の緊張感も加わってより良いのだらうと思われれます。しかしながら、オンデマンド型の授業動画配信には意欲の低下といった問題があるものの、インプット作業を自宅等で済ませておくことができるため、教室では反転授業を展開することが可能となります。「遠隔はやっぱり駄目だ、対面でないと」といった紋切り型の考え方でなく、学生が学修目標に達するには、現有する人的資源、物的資源をどのように使えば効果的なのかを考えて頂きたいと思っております。一方、実験・実習科目では2019年度と値がほとんど変わりません。アンケートを実施された実験・実習科目が対面で行われたものだけだった、といった選択バイアスが掛かっていたためかもしれません。

<学修時間>

次に、学修時間の推定値の推移（過去4年間分）をお示しします。学修時間に関する設問で2019年度までは回答1：0時間、2：0.5時間、3：1.5時間、4：2.5時間、5：3.5時間、6：4.5時間と仮定し、2020年度前期は回答1：0.5時間、2：1.5時間、3：2.5時間、4：3.5時間、5：4.5時間、6：5.5時間と仮定して学修時間を推定しました。2019年度までは授業外の学修時間を、2020年度はトータルの学修時間を表します。

表8 学修時間の推定値（単位：時間、過去4年間）

	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期	2019前期	2019後期	2020前期	2020後期
	授業外						トータル	トータル
講義	1.45	1.39	1.48	1.48	1.31	1.28	3.85	4.12
演習	1.87	1.48	1.88	1.73	2.23	1.68	3.76	4.42
実験・実習	2.10	2.00	2.20	2.10	1.94	2.16	4.80	4.56

2020年度はトータルの学修時間を表していますので、単純には比較できませんが、90分の授業も、学生とのやり取りや教員の無駄話が無くなれば、1時間程度の動画になると考えられますので、仮に授業動画を視聴している時間を1時間とすると、2020年度は、従来よりも1時間以上、学修時間が延長していることを示しております。2020年度後期は講義や演習科目でも自己学修の時間が初めて3時間を越えたこととなります。ただし、上でも述べましたように、意欲が低下している状態ですので、ダラダラと時間だけが延びているだけかもしれません。

また、2020年度のアンケートQ1で「1（トータルの学修時間1時間未満）」と回答した学生を、自主的には何も学修しなかった学生（授業外学修0時間）、「2（トータルの学修時間が1～2時間）」と回答した学生を、1時間弱自主的に勉強した学生（授業外学修0～1時間）と仮定し、その割合を以前までのデータと比較したものを表9にお示しします。

表9 授業外学修が1時間未満の学生の割合（過去4年間）

	授業外学修	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期	2019前期	2019後期	2020前期	2020後期
講義	0h	11.0%	15.3%	12.2%	13.9%	11.3%	12.8%	2.1%	0.9%
	0-1h	34.1%	33.8%	33.0%	32.1%	38.3%	38.0%	7.7%	2.7%
演習	0h	10.2%	14.1%	8.9%	13.0%	7.3%	9.4%	1.9%	0.5%
	0-1h	24.7%	31.3%	22.9%	27.1%	20.4%	31.9%	8.0%	1.2%
実験・実習	0h	3.2%	6.0%	4.1%	4.1%	7.5%	2.3%	0.8%	0.8%
	0-1h	20.3%	21.7%	18.0%	21.5%	24.3%	17.4%	0.8%	0.8%

自己学修しないという学生はかなり減っております。コロナ禍で自由に外出することもままなりませんので、ほとんどの学生が自宅にこもって自主的に、あるいは課題をこなすために半強制的にかもかもしれませんが、学修している様子が窺えます。

<学修態度と総合評価>

最後に、学生の学修態度（Q1、Q2）とその他の評価の相関分布を、表10～12に授業区分毎にお示しします。

表10 講義科目における学生の学修態度と評価の分布

	計	学修態度						平均	6・5群との差	
		6	5	4	3	2	1			
Q1 (6・5)	2,952	大変そう思う						2.81		
		まったくそう思わない								
		Q2	124	134	393	907	1,187			207
		Q3	672	1,493	600	137	45			5
		Q4	902	1,618	391	20	17			4
Q1 (4・3)	1,838	大変そう思う						2.35	-0.46	
		まったくそう思わない								
		Q2	23	37	149	474	820			335
		Q3	68	499	845	315	97			14
		Q4	67	558	1,002	143	63			5
Q1 (2・1)	183	大変そう思う						2.05	-0.75	
		まったくそう思わない								
		Q2	8	2	6	29	69			69
		Q3	10	23	36	43	44			27
		Q4	8	28	46	19	57			25
Q2 (6・5)	328	大変そう思う						4.74		
		まったくそう思わない								
		Q1	126	132	53	7	6			4
		Q3	88	130	64	33	9			4
		Q4	131	131	48	8	8			2
Q2 (4・3)	1,958	大変そう思う						4.55	-0.19	
		まったくそう思わない								
		Q1	414	886	546	77	30			5
		Q3	299	841	554	185	67			12
		Q4	410	907	537	58	39			7
Q2 (2・1)	2,687	大変そう思う						4.43	-0.65	
		まったくそう思わない								
		Q1	308	1,086	917	238	100			38
		Q3	363	1,044	863	277	110			30
		Q4	436	1,166	854	116	90			25

表11 演習科目における学生の学修態度と評価の分布

	計	学修態度						平均	6・5群との差	
		6	5	4	3	2	1			
Q1 (6・5)	663	大変そう思う						3.30		
		まったくそう思わない								
		Q2	64	68	122	189	189			31
		Q3	211	335	99	13	5			0
		Q4	261	325	68	5	3			1
Q1 (4・3)	236	大変そう思う						2.35	-0.95	
		まったくそう思わない								
		Q2	4	4	21	62	96			49
		Q3	24	76	106	24	6			0
		Q4	17	81	114	18	6			0
Q1 (2・1)	16	大変そう思う						3.81	-1.29	
		まったくそう思わない								
		Q2	0	0	0	4	8			4
		Q3	2	6	1	2	4			1
		Q4	2	4	2	4	3			1
Q2 (6・5)	140	大変そう思う						5.04		
		まったくそう思わない								
		Q1	68	64	8	0	0			0
		Q3	46	61	27	5	1			0
		Q4	69	54	15	1	1			0
Q2 (4・3)	261	大変そう思う						4.92	-0.12	
		まったくそう思わない								
		Q1	112	199	76	7	3			1
		Q3	102	193	81	14	8			0
		Q4	125	186	76	7	3			1
Q2 (2・1)	377	大変そう思う						5.07	-0.37	
		まったくそう思わない								
		Q1	61	159	126	19	8			4
		Q3	89	163	98	20	6			1
		Q4	86	170	93	19	8			1

表12 実験・実習科目における学生の学修態度と評価の分布

	計	6・5群との差						平均	6・5群との差	
		大変そう思う	まったくそう思わない							
Q1 (6・5)	211	Q2	19	15	34	50	73	20	3.04	
			9.0%	7.1%	16.1%	23.7%	34.6%	9.5%		
		Q3	58	115	28	7	3	0	5.03	
			27.5%	54.5%	13.3%	3.3%	1.4%	0.0%		
			92	109	10	0	0	0	5.39	
Q4	43.6%	51.7%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%				
	107	99	5	0	0	0	5.48			
		50.7%	46.9%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%			
Q1 (4・3)	46	Q2	4	4	7	8	12	11	2.85	-0.19
			8.7%	8.7%	15.2%	17.4%	26.1%	23.9%		
		Q3	3	14	23	3	3	0	4.24	-0.79
			6.5%	30.4%	50.0%	6.5%	6.5%	0.0%		
			4	15	24	1	2	0	4.39	-1.00
Q4	8.7%	32.6%	52.2%	2.2%	4.3%	0.0%				
	7	18	18	3	0	0	4.63	-0.85		
		15.2%	39.1%	39.1%	6.5%	0.0%	0.0%			
Q1 (2・1)	4	Q2	1	0	0	0	3	0	3.00	-0.04
			25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%		
		Q3	0	0	2	1	1	0	3.25	-1.78
			0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%		
			0	1	1	2	0	0	3.75	-1.64
Q4	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%				
	0	1	2	1	0	0	4.00	-1.48		
		0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%			
Q2 (6・5)	43	Q1	17	17	7	1	0	1	5.09	
			39.5%	39.5%	16.3%	2.3%	0.0%	2.3%		
		Q3	12	20	7	2	2	0	4.88	
			27.9%	46.5%	16.3%	4.7%	4.7%	0.0%		
			21	16	4	1	1	0	5.28	
Q4	48.8%	37.2%	9.3%	2.3%	2.3%	0.0%				
	23	16	3	1	0	0	5.42			
		53.5%	37.2%	7.0%	2.3%	0.0%	0.0%			
Q2 (4・3)	99	Q1	36	48	13	2	0	0	5.19	0.10
			36.4%	48.5%	13.1%	2.0%	0.0%	0.0%		
		Q3	24	50	19	5	1	0	4.92	0.04
			24.2%	50.5%	19.2%	5.1%	1.0%	0.0%		
			41	43	15	0	0	0	5.26	-0.02
Q4	41.4%	43.4%	15.2%	0.0%	0.0%	0.0%				
	51	35	12	1	0	0	5.37	-0.04		
		51.5%	35.4%	12.1%	1.0%	0.0%	0.0%			
Q2 (2・1)	119	Q1	29	64	20	3	2	1	4.94	-0.15
			24.4%	53.8%	16.8%	2.5%	1.7%	0.8%		
		Q3	25	59	27	4	4	0	4.82	-0.07
			21.0%	49.6%	22.7%	3.4%	3.4%	0.0%		
			34	66	16	2	1	0	5.09	-0.19
Q4	28.6%	55.5%	13.4%	1.7%	0.8%	0.0%				
	40	67	10	2	0	0	5.22	-0.20		
		33.6%	56.3%	8.4%	1.7%	0.0%	0.0%			

学修時間が長い学生ほど（Q1の6・5群）、また、意欲的に取り組んだ学生ほど（Q2の6・5群）、Q3～Q5の質問内容に対するポイントが高くなる傾向があります。

学修意欲（Q2）と学修時間（Q1）の関係について非常に興味深いデータが得られましたので、表13にお示しします。

表13 学修意欲毎の学修時間（Q1のポイント）の変化

	講義科目		演習科目	
	2020年度前期	2021年度前期	2020年度前期	2021年度前期
Q2(6・5)	3.74	5.08	3.94	5.43
Q2(4・3)	4.46	4.80	4.32	5.02
Q2(2・1)	4.39	4.43	4.60	4.62

前期の講義、演習科目では、学修意欲と学修時間が反比例しており、やる気のある学生はバツと自己学修を済ませるが、やる気の低下している学生ほど、だらだらと学修時間だけが長いという傾向が窺われました。しかしながら、後期では、学修意欲の高いQ2の6・5群のQ1（学修時間）のポイントが大幅に増加しており、90分程度学修時間が延長していると推定されます。意欲が中程度（Q2の4・3群）も30分程度学修時間が延長しておりますが、意欲の低い群（Q2の2・1群）はほとんど変わりません。この学修意欲の高い群の学修時間延長が、全体の学修時間延長に寄与しています。なぜこのような変化が見られたのか、個々の授業データまでは検証できませんので分かりませんが、何かしら教員の授業の進め方が変わってきたのではと想像しております。

#### <まとめ>

2020年度後期も、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、ほとんどの授業は遠隔で実施され、アンケートもWeb（Course Power）を用いて実施致しました。Webを用いたアンケートで回収率を上げるには、個々の教員の適切な指示が不可欠です。よろしくお願いたします。アンケート結果から、学生の学修意欲は著しく低下したままであるものの、学修時間は若干延長していることが明らかになりました。これは学修意欲の高い群の学修時間が延長しており、教員が何かしらの改善を行ったのではないかと推察しております。機会があれば、後期になって学修時間が延長した教員に、FD講演会で教授法を紹介して頂ければと考えております。教員が提示する教材の分かりやすさについては、若干の改善傾向が見られますが、まだ道半ばという感じです。遠隔授業に適した教材を作り上げることができれば、対面授業と遠隔授業の互いの利点を活かした新しい教育体制を構築していけるのではないかと考えております。

FD委員会では、受講生満足度調査だけに限らず、教員同士の評価（授業参観ウィーク）、講演型研修会、参加型研修会など様々なプログラムを用意しております。教職員一丸となって教育方法を深化させるべく、今後ともFD活動へのご協力をお願い申し上げます。

